

令和2年度 石川支部事業実施結果について

I. 基盤的保険者機能関係

1. サービス水準の向上

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様満足度向上・業務改善プロジェクト会議を通じた、電話対応に係る自己チェックシートの確認、加入者サービス水準向上に繋げるための対策を検討し、実施した。 ・令和元年度実施お客様満足度調査結果を見直し、スコアが低い項目を改善する対策を検討し、実施した。 ・サービススタンダード対象の現金給付に係る10営業日以内の支払いを遵守するため、ユニットやユニット連携で進捗状況を適切に管理した。 ・広報誌、メールマガジンを活用した郵送化促進および郵送申請書における記載不備減少につなげるための広報を実施した。 ・山崩し方式定着活動を徹底し、生産性の向上を図った。

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
サービススタンダードの達成状況	100.0%	100.0%	100.0%
現金給付等の申請に係る郵送化率	95.0%	95.0%以上	96.5%
指標	R1実績	R2実績	前年比
お客様満足度(窓口)	100.0%	100.0%	±0pt
お客様満足度(架電)	60.0%	76.7%	+16.7pt

2. 業務改革の推進に向けた取組

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・山崩し方式定着活動を徹底し、業務プロセスの標準化・効率化・簡素化を進めた。 ・ユニット体制の推進強化により役割を明確にし、生産性の向上と職員の多能化を図った。

3. 現金給付の適正化の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・本部提供の対象者リストに基づく傷病手当金及び出産手当金にかかる事後調査を実施した。 ・傷病手当金と障害年金等の併給調整対象者リストに基づく併給調整を実施した。 ・広報誌、メールマガジン等を活用した申請方法、制度全般に係る広報を実施した。

指標	R1実績	R2実績	前年比
現金給付の請求方法・制度の周知(件)	7	7	100.0%
傷病手当金と障害年金等の併給調整分返納金(件)	100	62	62.0%

4. 効果的なレセプト点検の推進

取組結果
<p>(1)内容点検 ・高額査定を目指し、高額レセプトの点検を重点的に行った結果、1件あたりの査定額が6,159円(昨年度比+1,080円)となった。 ・点検員のシステムスキルに応じた個別指導を実施。 (内容点検については新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、4/20～5/29の間停止)</p> <p>(2)資格点検 ・進捗管理を徹底し、点検から債権調定までを速やかに実施した。</p> <p>(3)外傷点検 ・進捗管理や再催告を徹底し、マニュアルどおり調定事務を実施した。</p>

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.255%	前年度以上	0.218%
指標	R1実績	R2実績	前年比
協会けんぽの再審査レセプト1件あたりの査定額	5,079	前年度以上	6,159
レセプト内容点検(点検員査定効果額:千円)	39,826	34,421	86.4%
負傷原因照会の実施(件)	2,696	2,562	95.0%

5. 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化

取組結果
<p>・柔道整復施術療養費申請に係る多部位(施術箇所が3部位以上)かつ頻回(施術日数が月15日以上)及びそれに準ずる申請に対する患者照会を実施した。 ・患者照会時に正しい利用等に関する制度についてのチラシを同封して、患者に柔整のかかり方を周知した。 ・審査会において、いわゆる「部位ころがし」と呼ばれる過剰受診が疑われる申請を重点的に審査し、不適切な施術が疑われる施術所に対しては面接確認委員会で指導を実施した。</p>

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合	1.08%	前年度以下	1.12%
指標	R1実績	R2実績	前年比
多部位・頻回患者照会(件)	4,351	5,016	115.3%
部位ころがし患者照会(件)	84	73	86.9%
審査会での審査・協議(件)	55	58	105.5%
面接確認委員会の実施(回)	2	1	50.0%

6. あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化

取組結果
<p>・文書で作成された医師の再同意書の確認を徹底する等審査を強化した。</p>

指標	R1実績	R2実績	前年比
同意書の不備による返戻(再提出がない申請:件数)	16	31	193.8%

7. 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

取組結果

(1) 保険証回収

・保険証回収率は年度当初から前年同月比プラスで推移したものの、最終的には94.98%（前年度比-1.53%）となった。理由は、日本年金機構における電子申請分の保険証回収登録にかかるシステム変更による。
 ・保険証未回収者に対し、日本年金機構の資格喪失処理後2週間以内に文書による一次催告を実施し、なお残る未回収者に対しては、一次催告後2週間以内に文書による二次催告を実施した。
 ・被保険者証回収不能届の受付日から7営業日以内に電話による返納催告を行った。

(2) 債権発生防止

・保険証の未回収者の多い事業所(73社)に対し、資格喪失等届出時の保険証の添付に係る周知文書を送付した。

(3) 保険者間調整の積極的な勧奨

・実施件数226件(昨年度比+65件)、回収金額29,042,852円(昨年度比+11,298,203円)となり、債権回収率向上の一因となった。
 ・納付書送付時に案内チラシを対象者全員に同封した

(4) 法的手続等、未返納の債務者に対する催告の実施

・債権回収率63.54%（昨年度比+3.94%）となった。
 ・調定から2ヵ月後と6ヵ月毎に文書催告を実施した。
 ・別途、高額債権等、事跡に応じて弁護士名催告を実施した。
 ・弁護士名催告を行ってもなお未納の債権について、法的手続きを実施した(10件)。
 うち2件に対し給与等の差押を実施した。

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	96.51%	96.9%以上	94.98%
返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率	59.56%	前年度以上	63.54%
医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.068%	前年度以下	0.087%
指標	R1実績	R2実績	前年比
保険者間調整の実施(件)	161	226	140.4%
保険者間調整による返納金回収件数の返納金回収総件数に占める割合	—	23.13%	新規
弁護士催告の実施(件)	669	340	50.8%
法的手段(支払督促)の実施(件)	37	10	27.0%

8. 限度額適用認定証の利用促進

取組結果

・申請書設置済医療機関に対する使用促進チラシ及び申請書の追加送付を行った。

・広報誌、メールマガジンを活用した利用促進のための広報を実施した。

・限度額適用認定証利用促進のチラシを作成し、県内医療機関に対して申請書と返信用封筒とセットにして送付し、利用促進を図った。

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	82.2%	85.0%以上	81.4%
指標	R1実績	R2実績	前年比
利用促進チラシ 発送数	—	24	—

9. 被扶養者資格の再確認の徹底

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・未送達事業所の住所を調査確認の上、再発送を実施した。 ・未提出事業所に対する文書及び電話による提出勧奨を実施した。 ・社会保険労務士会への協力依頼をした。 ・広報誌、メールマガジンを活用した事業所あて広報の実施

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	93.7%	92.0%以上	92.5%
指標	R1実績	R2実績	前年比
催告対象件数	1165	1627	139.7%

10. オンライン資格確認の円滑な実施

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、利用勧奨を停止した <p>* 国によるオンライン資格確認の開始に伴い、令和3年2月19日(金)終了</p>

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
USBを配布した医療機関における利用率	75.0%	78.4%以上	75.47%

Ⅱ. 戦略的保険者機能関係

1. ビッグデータを活用した事業所向け健康・医療データの提供、調査研究の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病保有リスクや一人当たり医療費、インセンティブ評価項等を事業所ごとに見える化した「事業所カルテ」を、10人以上で一定の条件を満たす事業所へ提供 商工会議所・商工会等との連携に向けた市町別健診実施率などのデータ提供を絡めた提案 レセプトデータを使用しての糖尿病性腎症を原因とする新規透析患者の割合にかかる集計
<p><新型コロナウイルスによる事業の中止></p> <ul style="list-style-type: none"> GISを活用した健診経年未受診者の分析(検診車による集団健診の中止に伴い)

指標	R1実績	R2実績	前年比
事業所カルテの事業所への配布数	908	1,261	138.9%

2. データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な実施

(1) 健診受診率の向上

取組結果
<p>○生活習慣病予防健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規適用事業所や任意継続被保険者に対する受診勧奨 新規委託契約(山中温泉ぬくもり診療所、ソフィア内科) 小規模事業所に勤務する被保険者個人向け案内リーフレットの送付 商工会主催健康診断での受診者数拡大に向けたチラシ送付
<p>○事業者健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診結果データ作成業務の外部委託 データの早期提出促進事業(インセンティブ付与)の実施 事業所から提出された同意書記載内容の再確認 委任状取得促進に向けた事業所情報把握のための覚書の締結
<p>○被扶養者の特定健診</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内11市町在住者に対する自治体主催の集団健診受診勧奨チラシの送付 ※新型コロナウイルスの影響により送付対象者が減少 健診機関案内チラシの送付 県内市町を対象とした集団健診の実施(R2.11~R3.1) 金沢市ほか7市町を対象とした集団健診の実施(R3.2~3)

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
生活習慣病予防健診受診率	57.1%	58.0%以上	54.2%
事業者健診データ取得率	13.3%	14.6%以上	13.6%
被扶養者の特定健診受診率	30.2%	32.6%以上	28.5%
指標	R1実績	R2実績	前年比
生活習慣病予防健診実施者数	104,635	100,665	96.2%
事業者健診データ取得件数	26,867	27,606	102.8%
特定健診実施者数	12,943	11,726	90.6%
主な取組①新適・任継受診者数(生活習慣病予防健診)	1,370	779	56.9%
主な取組②新規契約機関数(生活習慣病予防健診)	0	2	—

・集団健診の拡大に向けた受託健診機関増加に向けたアプローチ

<新型コロナウイルスによる事業の中止>

- ・経年未受診者を対象に検診車を活用した集団健診
- ・被扶養者向け夏季集団健診

主な取組③外部委託(紙媒体)データ取得件数(事業者健	1,238	705	56.9%
主な取組④自治体健診での受診者数(特定健診)	4,368	2,326	53.3%
主な取組⑤独自集団健診受診者数(特定健診)	2,754	3,060	111.1%

(2) 特定保健指導効果の拡大

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ○支部保健師等の活動強化に向けた研修会・検討会(3グループ)の実施 ・中断率の減少及びメタボ改善率向上に向けた成功事例の共有や困難事例への対応について検討 ○個別委託機関による特定保健指導実施率増加に向けたアプローチ ・実地調査時等の機会を利用した健診実施機関の実態に即した個別サポート ・新規委託契約(浅ノ川総合病院、川北温泉クリニック) ○集合契約委託機関や市町保健師による特定保健指導実施に向けたアプローチ ・健診及び特定保健指導の一体実施を定着させるための集団健診時における利用勧奨 ○その他 ・民間専門機関を活用した県外在住者(石川支部加入者)に対する特定保健指導の実施 ・遠隔面談を活用した特定保健指導の実施拡大(民間専門機関)

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
特定保健指導の実施率	24.2%	25.0%以上	16.5%
指標	R1実績	R2実績	前年比
特定保健指導実施者数(被保険者・支部保健師等)	3,654	2,577	70.5%
特定保健指導実施者数(被保険者・委託機関)	2,488	1,788	71.9%
特定保健指導実施者数(被扶養者)	42	39	92.9%
新規契約機関数	0	2	—
特定保健指導中断率(支部保健師等実施分) ※資格喪失等含む	10.3%	4.0%	-6.3%

(3) 未治療者への重症化予防施策の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ○血糖・血圧の健診結果が治療を要する者に対する医療機関への受診勧奨 ・外部委託による電話や文書での受診勧奨の実施 ・石川労働局と連携した事業所から対象者に対する勧奨に向けた協力依頼 <p><新型コロナウイルスによる事業の中止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症による重症化予防(生活改善サポート) ・簡易歯科検診(3社のみ実施)

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
受診勧奨後3か月以内の受診者の割合	12.1%	12.9%以上	10.8%
指標	R1実績	R2実績	前年比
本部からの受診勧奨者数	4,768	5,338	112.0%
石川支部からの再勧奨者数(※高数値者)	1,834	1,918	104.6%
医療機関連携で透析予防(介入人数)	1	0	0.0%
簡易歯科検診受診者数	1,769	164	9.3%

(4) コラボヘルスの推進

取組結果
<p>○ かがやき健康企業宣言事業所の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所カルテの提供と同時にかがやき健康企業宣言を勧奨(722社中69社(9.6%)が宣言) ・大規模事業所へ事業所カルテを持参し、訪問勧奨(11社) ・外部委託による電話勧奨は解除申し出により実施不能となったため、支部から文書勧奨を実施(2,295件中123社(5.3%)が宣言) ・保険会社と連携した勧奨の推進 <p>○ かがやき健康企業宣言事業所のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所カルテを宣言事業所528社へ送付し、健康づくりの取り組みを支援 ・外部委託による無料出前講座を実施(92件実施、満足度89.7%) ・健康経営優良法人認定や石川県知事表彰に向けたサポート <ul style="list-style-type: none"> 優良法人認定94社(ホワイト500:2社、ブライツ500:8社、大規模:4社、中小規模:80社) 石川県知事表彰11社(うち5社は協会けんぽからの推薦事業所) ・かがやき通信を毎月発行し、健康づくり情報等を提供 ・健康づくりサポート事業として「健康測定機器レンタル」を実施。(30社へ貸出)

指標	R1実績	R2実績	前年比
健康宣言リフレットで勧奨(事業所数)	68	2295	3375.0%
外部委託での電話勧奨(事業所数)	162	0	0.0%
事業所健康カルテの宣言事業所配布数	453	528	116.6%
事業所健康カルテの未宣言事業所配布数	455	733	161.1%
好事例集の収集・紹介事業所数	10	0	0.0%
支部・県出前講座の利用事業所数	77	92	119.5%
県・経産省認定制度の認定事業所数	83	105	126.5%
かがやき通信発行数	9	12	133.3%

3. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

(1) 広報を通じた健康増進意識の高揚、支部事業の理解促進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やweb広報、マスメディアを活用したインセンティブ制度の広報を実施 ・メールマガジンを活用した健康増進情報の提供 ・メールマガジンのアンケートとともにメールマガジン登録勧奨を実施 ・看護専門学校にて健康保険制度の出前講座を実施

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする。	47.4%	前年度以上	39.6%
指標	R1実績	R2実績	前年比
メルマガ発信回数	14	16	114.3%
メールマガジン新規登録件数	866	869	100.3%
卒業前学生向け講義開催数	4	1	25.0%

(2)健康保険委員の委嘱拡大と活動強化

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・新規適用事業所へ随時勧奨(636件) ・大規模事業所への訪問勧奨(10件)や中小規模事業所への文書勧奨(1,294件) ・健康保険委委員向け広報誌の定期発刊(四半期ごと4回) ・事務手続き冊子「協会けんぽのしおり」を作成し、新規健康保険委員へ配付 ・健康保険委員向け研修会はコロナ感染拡大防止のため中止

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	63.6%	60.0%以上	64.6%
指標	R1実績	R2実績	前年比
(電話再勧奨)新規委嘱者数	832	399	48.0%
委員通信発信回数	4	4	100.0%

4. ジェネリック医薬品をはじめとする医療費適正化の促進

(1)ジェネリック医薬品の使用促進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・全支部実施のジェネリック医薬品軽減額通知に加え、支部独自での切替案内を送付(6医薬品1,600名) ・医療機関や薬局を訪問し、使用促進の協力を依頼(45医療機関、96薬局) ・県内で子育て中の25-44歳や県内在住の50歳以上を対象に、ジェネリック医薬品のweb広告を実施 ・若年層(18歳)向けにマンガを使ったジェネリック推進案内を送付(5,500名) ・県薬剤師会と連携し、事業所を通してお薬手帳カバーを配付

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
ジェネリック医薬品使用割合	79.2%	80.4%以上	80.6%
指標	R1実績	R2実績	前年比
事業所を介しかば配布	11,939	18,380	153.9%
切替案内対象医薬品数	9	6	66.7%

(2)適正受診の啓発

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・納入告知書同封チラシにて保険証の正しい使い方を周知(11月号、12月号)

5. 地域の医療供給体制への働きかけや県民の健康増進に向けた意見発信・連携

取組結果
<p>○医療計画推進協議会での意見発信 ・医療圏保健医療計画推進協議会(南加賀)での病床機能見直しにかかる意見発信。</p> <p>○関係団体協議会等での意見発信 ・石川県保険者協議会における特定健診、特定保健指導、ジェネリック医薬品普及促進にかかる意見発信。</p> <p>○関係団体との協同事業を通して地域医療へ働きかけ ・石川県歯科医師会と共同で簡易歯科健診を実施。(コロナの影響により縮小して実施) ・石川県薬剤師会と連携し、ジェネリック推進お薬手帳カバーを配付。</p>

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率	100%	100%	100%
指標	R1実績	R2実績	前年比
調整会議での意見発信件数	2	2	100.0%

Ⅲ. 組織体制関係

1. 適切な組織運営

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職における定例のミーティングの実施(毎週) ・各グループにおける事業の進捗の把握及び課題確認のための進捗会議の実施(毎月) ・産業医を交えた衛生委員会の開催(毎月) ・調達審査委員会等の開催(随時)

指標	R1実績	R2実績	前年比
受診結果報告書の回収割合	100.0%	100.0%	100.0%
月平均一人当たり超過勤務時間数	12.6	6.3	50.0%

2. 人材育成の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員受講必須の研修実施(ハラスメント、情報セキュリティ、個人情報保護、コンプライアンス、メンタルヘルス、ビジネススキル)及び支部独自の接客対応研修の実施

指標	R1実績	R2実績	前年比
対象職員が全員参加した必須研修の実施件数	6	6	100.0%

3. 費用対効果を踏まえたコスト削減

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札削減について、公告期間、納品期間等の十分な期間の確保のための関係部署との調整 ・デザインや品質による競争性を促進させるため、これまで見積競争としていた案件について企画競争への移行

【KPI(重点業績評価指標)】	R1実績	R2目標	R2実績
一般競争入札に占める一者応札案件の割合	23.1%	20.0%以下	18.2%
指標	R1実績	R2実績	前年比
A4コピー用紙月平均使用箱数	28.1	22.1	78.6%

4. コンプライアンスの徹底

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス委員会の開催 ・管理職向けのパワーハラスメントにかかる伝達研修 ・内部自主点検項目の設定及び点検の実施(毎月、半期)

指標	R1実績	R2実績	前年比
コンプライアンス委員会の年2回以上の開催	3	3	100.0%
コンプライアンス案件の発生数	0	0	—

5. リスク管理

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護管理委員会の開催 ・全職員受講必須の情報セキュリティ研修時の理解度テストの結果をフィードバックし改善に努めた ・新型コロナウイルス対策として、うがい、手洗い、マスク着用、換気等の徹底、消毒薬の配置、飛沫防止パーテーション等の設置

指標	R1実績	R2実績	前年比
個人情報委員会の年2回以上の開催	4	3	75.0%
2月以内の同種の事務処理誤り発生件数	0	0	—
内部監査によるマイナス評価の指摘件数	1	0	0.0%